

英国政府

家 健康と社会的ケア

ニュース記事

首相、2009年1月1日以降に生まれた人へのタバコ販売を中止し「禁煙世代」を創設へ

政府は将来世代の若者を喫煙の害から守るための歴史的な新法を導入する。

から：[首相官邸、ダウニング街 10 番地](#)、および [リシ スナック議員](#)

発行済み 2023 年 10 月 4 日

最終更新 2023 年 10 月 4 日

PROTECTING OUR KIDS FROM EVER TAKING UP SMOKING

政府は将来世代の若者を喫煙の害から守るための歴史的な新法を導入する。

入する。

- 喫煙は英国で予防可能な最大の死因であり、約4人に1人ががんで死亡し、英国だけでも6万4,000人を引き起こしており、経済と社会全体に毎年170億ポンドの損失を与えている。
- この移転は、一世代で最も重要な公衆衛生介入となり、数万人の命を救い、NHSの数十億ポンドを節約することになる。
- 青少年の電子タバコに対するさらなる取り締まりにより、政府は使い捨て電子タバコの制限や、子供たちへの魅力を減らすためのフレ

ーバーやパッケージの規制について協議することになるだろう。

政府は、最初の「非喫煙世代」を生み出すために、イギリスで今年14歳以下の子供たちにタバコを合法的に販売することを禁止する歴史的な新法を導入する予定である。

提案されている新しい法律は、2009年1月1日以降に生まれた人に対するタバコ製品の販売を犯罪とし、全人口に適用されるまで喫煙年齢を毎年1歳ずつ実質的に引き上げることとなります。これにより、早ければ2040年にも若者の喫煙がほぼ完全に廃止される可能性がある。

喫煙は依存性が高く、喫煙者の5人に4人は20歳未満で喫煙を始め、残りの生涯にわたって依存症のままです。政府は若者が喫煙を始めることを阻止することで、若者の全世代を年齢を重ねるにつれて喫煙の害から守ることになる。

喫煙は英国で予防可能な最大の死因であり、英国では約4人に1人ががんで死亡し、年間64,000人が死亡しています。これはNHSに大きなプレッシャーを与えており、喫煙が原因の入院は毎分1件近く発生しており、毎月最大75,000件の一般医予約が喫煙関連疾患で占められている。

また、喫煙は全国的な健康格差の最大の要因の一つでもあり、最も裕福な地方自治体と比較して、最も恵まれない地方自治体では喫煙者が多く、喫煙による死亡者数が2倍以上となっている。妊娠中の喫煙率も大きく異なり、国の一部の地域では妊婦の20%もが喫煙しており、死産の可能性がほぼ50%増加します。

また、喫煙は、喫煙に関連した逸失利益、失業、早期死亡、NHSへの費用などにより、経済に年間170億ポンドの損失を与えています。

これらの変化は、政府によるこの世代で最も重要な公衆衛生介入の1つとなります。政府が行動を起こさなければ、2022年に発表された独立した調査書は、2030年までに50万人近くが喫煙により死亡すると推定している。

より広範には、2075年までに喫煙者が最大170万人減少することを意味すると予想されており、

これにより数万人の命が救われ、医療・介護システムが数十億ポンド節約され、2075年までに経済が最大850億ポンド押し上げられることとなります。脳卒中、心臓病、肺がん、その他の肺疾患の症例が最大115,000件。

喫煙は犯罪化されず、段階的なアプローチにより、現在合法的にタバコを購入できる人は将来的にも購入できなくなります。

リシ・スナック首相は次のように述べた。

自分の子供に喫煙を始めてほしくない親はいないでしょう。これは致命的な習慣であり、毎年数万人が死亡し、NHSに数十億ドルの費用がかかると同時に、国としての生産性に多大な悪影響を及ぼします。

私は子供たちに、より良い、より明るい未来を築きたいと思っています。だからこそ、喫煙を永久に撲滅したいのです。これらの変更は、私たちの子供たちがタバコを買うことができなくなり、タバコ中毒を防ぎ、現在と将来の健康を守ることを意味します。

最高医療責任者のクリス・ウィッティ教授は次のように述べています。

喫煙は多くの命を傷つけます。死産、小児喘息、心臓病、脳卒中、認知症の原因となるだけでなく、ほとんどの肺がんの原因となり、他の多くのがんのリスクも増加します。

人生の早い段階でタバコ中毒になることは、将来の健康にとって最悪の事態の一つです。人々が喫煙中毒になるのを防ぎ、喫煙者の禁煙を支援することは、健康を改善するために私たちが講じることができる最も重要な対策の2つです。

スティーブ・バークレー保健社会保障長官は次のように述べた。

喫煙は人の命を奪い、NHSに多大な負担を与え、毎年数十億ドルの経済損失をもたらします。

この画期的な一歩を通じて、私たちは将来にわたって子供たち、孫たち、そして医療サービスを喫煙の危険から守ります。

また、電子タバコは大人の禁煙には効果的なツールですが、特に若者をターゲットにしていると思われるマーケティングやフレーバーによって引き起こされる、懸念される子供の電子タバコの急増に私たちは取り組む決意をしています。

政府は本日、子供たちにとって電子タバコの魅力と利用可能性を減らす計画について協議する意向を発表し、青少年の電子タバコに対するさらなる大規模な取り締まりを発表した。

VAPE は成人によって禁煙のためのツールとして正当に使用されていますが、健康上のアドバイスは明確です。喫煙しない場合は VAPE を使用しないでください。また、子供は決して VAPE を吸うべきではありません。子供が電子タバコを吸うことはすでに違法ですが、憂慮すべき傾向として、若者の電子タバコの利用者は過去 3 年間で 3 倍に増加しており、現在では喫煙者よりも電子タバコを吸う子供の数が多くなっています。

子どもたちを守ることに成人喫煙者の禁煙支援との間で適切なバランスをとるために、政府は協議を前倒しする予定だ。

相談では次の点が検討されます。

- VAPE のフレーバーとその説明を制限して、VAPE のフレーバーが子供をターゲットにしないようにします。これは、成人喫煙者の切り替えを引き続きサポートする方法で確実に行われるようにしたいと考えています。
- 電子タバコが子供の目の届かないところに置かれたり、お菓子など子供たちの興味を引く商品から遠ざけられるよう、小売店の店頭陳列を規制する。
- 電子タバコのパッケージと製品の表示を規制し、デバイスもそのパッケージも子供を対象にしないようにします。
- 使い捨て電子タバコの販売を制限することは、明らかに子供の電子タバコの増加に関連しています。これらの製品は子供たちにとって魅力的なだけでなく、環境に非常に有害です。

また、子供たちが無料サンプルを入手したり、非ニコチンの電子タバコを購入したりできる法律の抜け穴も塞ぎます。

取り締まり活動も強化され、現地取引基準、HMRC、国境警備隊などの機関が未成年者販売を阻止し、国境で違法なタバコや電子タバコ製品の輸入に取り組むことを支援するために3,000万ポンドが投資される。

NHS国立医療部長のスティーブン・ポウイス教授は次のように述べています。

喫煙は予防可能な死亡の最大の原因であり、NHS に毎年数十億ポンドの損害を与えています。毎日ほぼ毎分、喫煙が原因で誰かが入院しています。

これは公衆衛生上の重大な介入であり、より長く健康的な生活につながる政府の大胆かつ野心的な行動を歓迎します。禁煙世代はNHSの多大な負担を軽減します。

禁煙サービスは、毎年何十万人もの人々が永久に禁煙できるよう支援しています。2 倍の資金 (現在は 1 億 4,000 万ポンド) があれば、さらに多くの人がこの無料サービスにアクセスして、この習慣を完全に断つことができるようになります。

英国がん研究の最高経営責任者ミシェル・ミッチェルOBEは次のように述べた。

タバコ製品の販売年齢の引き上げは、史上初の禁煙世代を生み出すための重要な一歩です。タバコロビー団体の利益よりも国民の健康を優先した首相は大いに称賛に値する。禁煙サービスへのさらなる投資は国家にとって不可欠です。

喫煙はNHSと経済に大きな圧力をかけており、イギリスでは喫煙が原因で毎年50万人以上が入院しています。

私たちは英国政府が禁煙サービスへのさらなる資金の投資と並行して、販売年齢を引き上げる法案を迅速に施行することを支援します。

英国心臓財団のメディカルディレクターであるサー・ナイルシュ・サマニ教授は次のように述べています。

喫煙は心臓発作や脳卒中などの心血管疾患の主要な危険因子であり、不必要に多くの命を早期に奪います。

我々は、我が国の健康と福祉への被害を最小限に抑えるための、首相によるこの重要な取り組みを歓迎する。

喫煙と健康に関する行動の最高責任者であるデボラ・アーノット氏は次のように述べています。

首相は本日、次世代を守り、喫煙が廃れる日を早めるための前例のない一連の措置を発表した。

喫煙者と一緒に育った場合、子供が喫煙を始める可能性は4倍高く、一度喫煙すると依存性が高く、やめるのが困難です。

販売年齢の引き上げと若者の喫煙開始を阻止するための取り締まり強化というツイントラックアップアプローチと、依存症喫煙者に禁煙の動機を与え、成功するために必要なサポートを提供するための大幅な追加資金提供が、私たちが禁煙の未来へ軌道に乗せるのに役立つだろう。。

私たちは、喫煙が乳児や幼児の避けられる健康不良や周産期死亡の原因ではなくなり、成人の早期死亡の主な原因ではなくなる日を心待ちにしています。

政府はまた、現在喫煙している人々が永久に禁煙できるよう支援するため、以下のような取り組みを進めていきます。

- 禁煙サービスに対する現在の資金を2倍以上に増やし、地元で提供される費用対効果の高いサービスを拡大するために年間7,000万ポンドを追加投資します。これにより、約36万人の禁煙が支援されることとなります。
- 変化、禁煙の利点、利用可能なサポートを説明する全国的なタバコマーケティングキャンペーンに資金を提供するために、今年追加で500万ポンド、その後は年間1,500万ポンドを提供する。
- 新しい全国的な「スワップ・トゥ・ストップ」制度を展開 - 100万人の喫煙者が紙巻きタバコ

からベイプに交換することを支援 - この種の国家制度としては世界初。

これは、タバコ製品への無地パッケージの導入、販売年齢の16歳から18歳への引き上げ、公共の場所での喫煙の禁止などのこれまでの介入に加えて行われるものであり、これらはすべて喫煙率に重大な影響を与えてきた。特に、販売年齢の引き上げにより、16/17歳の喫煙率が30%減少しました。

全体として、喫煙者の数は、喫煙がピークだった1974年に比べて3分の2減少しました。

英国王立小児科・児童保健大学の学長であるカミラ・キングドン博士は次のように述べています。

小児医師として、私は喫煙と電子タバコの両方が乳児、子供、若者の健康に悪影響を与えることに疑いの余地を持ちません。首相の発表は大歓迎だ。

王立医科大学アカデミー会長のジャネット・ディクソン博士は次のように述べています。

王立医科大学アカデミーの会長は、英国での喫煙を事実上なくすという首相の大胆な発表を歓迎する。

喫煙による被害は、胎児から最年長の家族に至るまで、すべての人に影響を与えます。これらの害を防ぐ最善の方法は、英国での喫煙を減らし、最終的には喫煙をなくすことです。」

カミラ・ホーソン教授（MBE、GP）は次のように述べています。

私は35年間一般医として勤務しており、喫煙が健康に及ぼす取り返しのつかない恐ろしいダメージを見てきました。一度喫煙の習慣ができてしまったらやめようとするよりも、一度も喫煙を始めなかった方がはるかに簡単です。子どもたちに喫煙の機会を与えてはなりません。喫煙習慣を妨げるものはすべて支援する価値があります。

英国王立外科医大学のティム・ミッチェル学長は次のように述べています。

「喫煙は、がんや手術を必要とする他の多くの病気の主な原因であるだけでなく、手術後の回復にも影響を及ぼします。これらの対策は喫煙者の数を減らすことで命を救い、手術の必要性を減らすことになります。」

英国王立内科医協会の学長であり、ケンブリッジ王立パップワース病院のコンサルタント心臓専門医であるサラ・クラーク博士は次のように述べています。

私は喫煙を減らし、喫煙を完全に廃止するためのあらゆる措置を歓迎します。公衆衛生メッセージングと禁煙サービスへの投資はすべて、これに貢献します。喫煙によって多くの人生が台無しになっているのを私は見ています。

公開日 2023 年 10 月 4 日

最終更新日 2023 年 10 月 4 日 [+ すべての更新を表示](#)